

高 監 発 第 7-1 号  
平成 26 年 9 月 26 日

高座清掃施設組合  
組合長 内 野 優 様

高 座 清 掃 施 設 組 合  
監 査 委 員 齋 藤 昭  
監 査 委 員 青 柳 慎



平成 25 年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算等審査意見書に  
ついて (提出)

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 25 年度高  
座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算書及び決算附属書類を審査したので、  
別添のとおり意見書を提出します。

平成 25 年 度

高座清掃施設組合一般会計

歳入歳出決算等審査

意見書

高座清掃施設組合監査委員

# 目 次

ページ

<b>1 審査の対象</b> .....	1
(1) 平成25年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算書 .....	1
(2) 政令で定める書類 .....	1
<b>2 審査の期間</b> .....	1
<b>3 審査の方法</b> .....	1
<b>4 審査の結果</b> .....	1
<b>5 決算</b> .....	2
(1) 概要 .....	2
(2) 歳入決算状況 .....	3
(3) 歳出決算状況 .....	8
<b>6 実質収支に関する調書</b> .....	1 6
<b>7 財産に関する調書</b> .....	1 6
<b>むすび</b> .....	1 7
決算審査資料 .....	2 1
別表 1 平成25年度における三市の分担金 .....	2 2
別表 2 最近5カ年の単年度収支状況 .....	2 3
別表 3 款別歳入決算年度比較表 .....	2 4
別表 4 款別歳出決算年度比較表 .....	2 5
別表 5 最近5カ年の歳入決算状況 .....	2 6
別表 6 最近5カ年の歳出決算状況 .....	2 7

平成25年度高座清掃施設組合一般会計  
歳入歳出決算審査等意見書

## 1 審査の対象

- (1) 平成25年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算書
- (2) 政令で定める書類
  - 平成25年度高座清掃施設組合一般会計決算事項別明細書
  - 平成25年度高座清掃施設組合一般会計実質収支に関する調書
  - 平成25年度高座清掃施設組合財産に関する調書

## 2 審査の期間

平成26年8月22日から平成26年9月12日まで

## 3 審査の方法

組合長から提出された高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算書、同一般会計決算事項別明細書、同一般会計実質収支に関する調書及び同財産に関する調書について、関係法令の定めるところに従って調製され、かつ計数も正確に表示されているか、予算の執行は適正に行われているかを検討するため、関係諸帳簿・証拠書類との照合、関係書類の閲覧、また関係職員からの説明聴取、例月出納検査資料の参照などの方法によって審査を行った。

## 4 審査の結果

高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算書、同決算事項別明細書、同実質収支に関する調書、同財産に関する調書は、いずれも関係法令の定めるところに従って調製され、計数は関係諸帳簿等と符合し正確に表示されており、本会計の予算の執行も、一般的に所期の目的に従い効率的かつ適正に行われているものと認められた。

なお、本会計の決算内容は、以下に述べるとおりである。

## 5 決算

### (1) 概要

本会計の予算現額4,166,471千円に対する決算額は、次のとおりである。

歳入決算額	4,172,252千円
歳出決算額	3,695,746千円
歳入歳出差引残額	476,506千円

平成25年度の一般会計当初予算は4,073,821千円（対前年度440,111千円・12.1%増）であったが、補正（92,650千円）を加え4,166,471千円となり、平成25年度の一般会計決算額は、歳入総額4,172,252千円（対前年度357,804千円・9.4%増）、歳出総額3,695,746千円（対前年度390,593千円・11.8%増）である。

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は476,506千円（対前年度△32,789千円・6.4%減）となり、翌年度へ繰り越すべき財源74,108千円を差し引いた実質収支は△106,897千円（対前年度△185,128千円・236.6%減）となった。

予算現額に対する決算額の執行率は、歳入は100.1%、歳出は88.7%である。

表 - 1

歳入歳出決算額等比較

(単位：円)

	平成25年度 ①	平成24年度 ②	比較増減 ③ ①-②	対前年度 伸 率
予算現額 A	4,166,471,000	3,782,748,650	383,722,350	10.1%
歳入総額 B	4,172,251,797	3,814,448,150	357,803,647	9.4%
歳出総額 C	3,695,745,704	3,305,152,817	390,592,887	11.8%
形式収支 D B-C	476,506,093	509,295,333	△32,789,240	△6.4%
翌年度へ繰越すべき 財源 E	74,108,000	0	74,108,000	皆増
実質収支 F D-E	402,398,093	509,295,333	△106,897,240	21.0%
単年度収支 G	△106,897,240	78,231,095	△185,128,335	△236.6%
執行率（歳入）	100.1%	100.8%		
執行率（歳出）	88.7%	87.4%		

## (2) 歳入決算状況

表 - 2

### 歳入決算状況

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入 済額の比較 ②－①
25年度	4,166,471,000	4,172,251,797	4,172,251,797	0	0	5,780,797
24年度	3,782,748,650	3,814,448,150	3,814,448,150	0	0	31,699,500
増減額	383,722,350	357,803,647	357,803,647	0	0	△25,918,703
増減率	10.1%	9.4%	9.4%	0.0%	0.0%	△81.8%

当該年度の歳入は、予算現額4,166,471千円に対して、収入済額4,172,252千円である。

収入済額は、予算現額に対して5,781千円増(対前年度△25,918千円・△81.8%減)であり、予算現額に対する増額の主な要因は、事業系廃棄物搬入量の増加に伴う手数料収入の増によるものである。

調定額に対する収入割合は100.0%であり、収入済額の主たるものは、分担金及び負担金2,709,908千円・64.95%である。

歳入状況を前年度と比較すると、予算現額は383,722千円・10.1%増、収入済額は357,804千円・9.4%増と各項目で増加している。

前年度に対する増額の主な要因は、施設更新事業(新し尿処理施設建設事業)に伴う特定財源として、国庫補助金266,966千円(対前年度152,503千円・133.2%増)、組合債227,700千円(対前年度142,800千円・168.2%)が増したほか、事業系廃棄物搬入量の増、構成市外からの臨時的な一般廃棄物処理手数料収入により使用料及び手数料443,923千円(対前年度101,919千円・29.8%増)によるものである。

最近5カ年の歳入決算状況は、別表5のとおりである。

歳入の各款別の状況は、次に述べるとおりである。

1 款 分担金及び負担金

表 - 3

分担金及び負担金決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納欠 損額	収入未 済額	予算現額と収入 済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
25年度	2,709,908,000	2,709,908,000	2,709,908,000	0	0	0	100.0%	100.0%
24年度	2,823,025,000	2,823,025,000	2,823,025,000	0	0	0	100.0%	100.0%
増減額	△113,117,000	△113,117,000	△113,117,000	0	0	0		
増減率	△4.0%	△4.0%	△4.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

分担金及び負担金の決算額は2,709,908千円(対前年度△113,117千円・△4.0%減)、歳入総額に対する割合は64.95%(前年度74.00%)となっている。

分担金及び負担金が減額した要因としては、施設更新計画支援事業及び新し尿処理施設建設事業に係る事業費の増に伴い建設費分担金は64,394千円(対前年度50,820千円・374.4%増)となったが、組合債の一部償還終了に伴う公債費等の減額に伴い運営費分担金が2,615,514千円(対前年度△163,937千円・△5.9%減)となったことによるものである。

三市分担金の状況は、別表1のとおりである。

2 款 使用料及び手数料

表 - 4

使用料及び手数料決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納欠 損額	収入未 済額	予算現額と収入 済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
25年度	438,039,000	443,922,787	443,922,787	0	0	5,883,787	101.3%	100.0%
24年度	311,077,000	342,004,253	342,004,253	0	0	30,927,253	109.9%	100.0%
増減額	126,962,000	101,918,534	101,918,534	0	0	△25,043,466		
増減率	40.8%	29.8%	29.8%	0.0%	0.0%	△81.0%		

使用料及び手数料の決算額は443,923千円（対前年度101,919千円・29.8%増）、歳入総額に対する割合は10.64%（前年度8.97%）となっている。

内訳は、行政財産使用料551千円（対前年度△49千円・△8.2%減）として教育使用料（自動販売機等設置使用料）534千円（対前年度△22千円・△4.0%減）、民生使用料（自動販売機等設置使用料）5千円（皆増）及び総務使用料（東電電柱敷地料等）12千円（対前年度△32千円・△72.7%減）、衛生手数料として事業系廃棄物処理手数料及び一般廃棄物処理手数料443,372千円（対前年度101,968千円・29.9%増）である。

衛生手数料については、事業系廃棄物の搬入量が15,613.56トン（対前年度1,957.38トン・14.33%増）、鎌倉市からの一般廃棄物受入に係る手数料が2,121.32トン（皆増）となったことに伴い増額となっている。

なお、収入未済額等はない。

### 3 款 国庫支出金

表 - 5

#### 国庫支出金決算額

（単位：円）

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納欠 損額	収入未 済額	予算現額と収 入済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
25年度	266,966,000	266,966,000	266,966,000	0	0	0	100.0%	100.0%
24年度	114,463,000	114,463,000	114,463,000	0	0	0	100.0%	100.0%
増減額	152,503,000	152,503,000	152,503,000	0	0	0		
増減率	133.2%	133.2%	133.2%	0.0%	0.0%	0.0%		

国庫支出金の決算額は266,966千円（対前年度152,503千円・133.2%増）、歳入総額に対する割合は6.40%（前年度3.00%）となっている。

内訳は、国庫補助金として建設中のし尿処理施設建設事業に伴う厚木航空基地周辺し尿処理施設設置助成事業248,036千円（対前年度145,136千円・141.0%増）及び交付金として施設更新計画に伴う循環型社会形成推進交付金18,930千円（対前年度7,367千円・63.7%増）である。

国庫支出金が増額した要因としては、新し尿処理施設建設工事の本格化、施設更新に係る計画支援事業の増額によるものである。



#### 4款 県支出金

表 - 6

#### 県支出金決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納欠 損額	収入未 済額	予算現額と収 入済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
25年度	13,600,000	13,600,000	13,600,000	0	0	0	100.0%	100.0%
24年度	14,000,000	14,300,000	14,300,000	0	0	300,000	102.1%	100.0%
増減額	△400,000	△700,000	△700,000	0	0	△300,000		
増減率	△2.9%	△4.9	△4.9	0.0%	0.0%	皆減		

県支出金の決算額は13,600千円（対前年度△700千円、△4.9%減）、歳入総額に対する割合は0.32%（前年度0.37%）となっている。

県支出金が減額した要因としては、新し尿処理施設建設事業に係る国庫支出金及び組合債が増額したことにより、神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金の補助基準額が減額となったためである。

#### 5款 繰越金

表 - 7

#### 繰越金決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納欠 損額	収入未 済額	予算現額と収 入済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
25年度	509,295,000	509,295,333	509,295,333	0	0	333	100.0%	100.0%
24年度	434,458,650	434,458,888	434,458,888	0	0	238	100.0%	100.0%
増減額	74,836,350	74,836,445	74,836,445	0	0	95		
増減率	17.2%	17.2%	17.2%	0.0%	0.0%	39.9%		

繰越金の決算額は509,295千円（対前年度74,836千円・17.2%増）、歳入総額に対する割合は12.21%（前年度11.39%）となっている。

内訳は、全額純繰越金509,295千円（対前年度78,231千円・18.1%増）である。

純繰越金が増額している要因は、前年度における、塵芥処理費、需用費の施設修繕及び委託料の一般廃棄物処理の不用額によるものである。

## 6款 諸 収 入

表 - 8

### 諸収入決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納欠 損額	収入未 済額	予算現額と収 入済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
25年度	963,000	859,677	859,677	0	0	△103,323	89.3%	100.0%
24年度	825,000	1,297,009	1,297,009	0	0	472,009	157.2%	100.0%
増減額	138,000	△437,332	△437,332	0	0	△575,332		
増減率	16.7%	△33.7%	△33.7%	0.0%	0.0%	△121.9%		

諸収入の決算額は860千円（対前年度△437千円・△33.7%減）、歳入総額に対する割合は0.02%（前年度0.04%）となっている。

内訳は、預金利子として205千円（対前年度△82千円・△28.6%減）及び雑入655千円（対前年度△355千円・△35.1%減）となっている。

減額した要因は、雑入として前年度に収受した地方公務員災害補償基金特別負担金248千円及び原子力発電所事故による賠償金199千円が当年度は皆減したことによるものである。

なお、収入未済額等はない。

## 7款 組合債

表 - 9

### 組合債決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額 ①	調定額	収入済額 ②	不納欠 損額	収入未 済額	予算現額と収 入済額の比較 ②-①	執行率	
							対予算	対調定
25年度	227,700,000	227,700,000	227,700,000	0	0	0	100.0%	100.0%
24年度	84,900,000	84,900,000	84,900,000	0	0	0	100.0%	100.0%
増減額	142,800,000	142,800,000	142,800,000	0	0	0		
増減率	168.2%	168.2%	168.2%	0.0%	0.0%	0.0%		

組合債の決算額は227,700千円（対前年度142,800千円・168.2%増）、歳入総額に対する割合は5.46%（前年度2.23%）となっている。

組合債が増額した要因としては、新し尿処理施設建設工事が本格化したことによるものである。

### （3） 歳出決算状況

表 - 10

#### 歳出決算状況

（単位：円）

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	4,166,471,000	3,695,745,704	74,108,000	396,617,296	88.7%
24年度	3,782,748,650	3,305,152,817	0	477,595,833	87.4%
増減額	383,722,350	390,592,887	74,108,000	△80,978,537	
増減率	10.1%	11.8%	皆増	△17.0%	

当該年度の歳出は、予算現額4,166,471千円に対して支出済額3,695,746千円（対前年度390,593千円・11.8%増）、執行率88.7%である。

支出済額の主たるものは、職員人件費744,072千円のほか塵芥処理費での施設修繕費1,012,374千円、一般廃棄物処理委託料539,101千円、新し尿処理施設建設事業費515,797千円である。

最近5カ年の歳出決算状況は、別表6のとおりであり、支出済額の性質別の内訳は、次のとおりである。

表 - 11

## 支払済額の性質別内訳

(単位：円)

	平成25年度	平成24年度	増減額	対前年度伸率
人件費	744,071,834	786,882,504	△42,810,670	△5.4%
扶助費	6,430,000	6,810,000	△380,000	△5.6%
公債費	142,242,998	252,253,281	△110,010,283	△43.6%
普通建設事業費	515,796,750	213,496,500	302,300,250	141.6%
災害復旧費	—	—	—	—
物件費	1,133,482,132	1,076,802,006	56,680,126	5.3%
補助費等	100,221,395	101,569,372	△1,347,977	△1.3%
維持補修費	1,053,500,595	867,339,154	186,161,441	21.5%
合計	3,695,745,704	3,305,152,817	390,592,887	11.8%

歳出の各款別の状況は、次に述べるとおりである。

## 1 款 議会費

表 - 12

## 議会費決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	1,333,000	1,102,266	0	230,734	82.7%
24年度	1,325,000	1,111,647	0	213,353	83.9%
増減額	8,000	△9,381	0	17,381	
増減率	0.6%	△0.8%	0.0%	8.1%	

議会費の決算額は1,102千円（対前年度△10千円・△0.9%減）、歳出総額に対する割合は0.03%（前年度0.04%）となっている。

予算現額1,333千円に対する執行率は82.7%、不用額は231千円である。

支出済額の主なものは議員報酬923千円である。

## 2款 総務費

表 - 13

### 総務費決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	463,289,000	408,094,394	12,108,000	43,086,606	88.1%
24年度	412,336,650	372,191,367	0	40,145,283	90.3%
増減額	50,952,350	35,903,027	12,108,000	2,941,323	
増減率	12.4%	9.6%	皆増	7.3%	

総務費の決算額は408,095千円（対前年度35,903千円・9.6%増）、歳出総額に対する割合は11.04%（前年度11.26%）となっている。

予算現額463,289千円に対する執行率は88.1%、不用額は43,086千円である。

支出済額の主なものは職員の人件費181,218千円のほか構成市等への交付金等94,885千円、施設更新に係る調査・計画等委託料50,076千円である。

なお、翌年度繰越額はない。

#### ○ 一般管理費

予算現額364,007千円（対前年19,584千円・5.7%増）に対して支出済額322,448千円（対前年度14,776千円・4.8%増）、不用額41,559千円（対前年度4,808千円・13.1%減）となり、執行率は88.6%である。

支出済額が増額した要因は、人事異動に伴う職員増加による人件費の増額(18,453千円)であり、支出済額の主なものは、職員給与費121,163千円、共済費60,224千円、使用料及び賃借料34,266千円、負担金、補助及び交付金94,885千円である。

不用額の主なものは、需用費1,364千円、委託料2,328千円、負担金、補助及び交付金30,882千円である。

#### ○ 財政管理費

予算現額35,365千円（対前年度△651千円・△1.8%減）に対して支出済額34,800千円（対前年度△385千円・△1.1%減）、不用額565千円（対前年度△266千円・△32.0%減）となり、執行率は98.4%である。

支出済額の主なものは、需用費4,044千円、委託料17,308千円、使用料及び賃借料11,900千円である。

○ 企画費

予算現額63,805千円（対前年度32,019千円・100.7%増）に対して支出済額50,750千円（対前年度21,517千円・73.6%増）、翌年度繰越額12,108千円（対前年度12,108、皆増）、不用額947千円（対前年度△1,606千円・△62.9%）となり、執行率は79.5%である。

支出済額が増額した要因は、ごみ処理施設更新に伴う生活環境影響調査（21,969千円）、施設更新計画に係るごみ処理施設更新事業者選定等支援業務（15,256千円）によるものである。

支出済額の大半は委託料50,076千円であり、主なものは、施設更新計画に係るものの45,498千円である。

不用額の主なものは、その他委員報酬585千円、使用料及び賃借料312千円である。

○ 監査委員費

予算現額112千円（対前年度、増減なし）に対して支出済額97千円（対前年度△5千円・△4.9%減）、不用額15千円（対前年度5千円・50.0%増）、執行率は86.6%である。

3款 民生費

表 - 14

民生費決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	25,000,000	23,002,154	0	1,997,846	92.0%
24年度	30,006,000	26,222,362	0	3,783,638	87.4%
増減額	△5,006,000	△3,220,208	0	△1,785,792	
増減率	△16.7%	△12.3%	0.0%	△47.2%	

民生費の決算額は23,002千円（対前年度△3,221千円・△12.3%減）、歳出総額に対する割合は0.62%（前年度0.79%）となっている。

予算現額25,000千円に対する執行率は92.0%、不用額は1,998千円である。

支出済額の主なものは指定管理料等の委託料21,698千円、需用費の施設修繕費1,260千円である。

#### 4款 衛生費

表 - 15

#### 衛生費決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	3,187,409,000	2,995,375,506	62,000,000	130,033,494	94.0%
24年度	2,774,799,000	2,535,285,379	0	239,513,621	91.4%
増減額	412,610,000	460,090,127	62,000,000	△109,480,127	
増減率	14.9%	18.1%	皆増	△45.7%	

衛生費の決算額は2,995,376千円（対前年度460,091千円・18.1%増）、歳出総額に対する割合は81.05%（前年度76.71%）となっている。

予算現額3,187,409千円に対する執行率は94.0%、翌年度繰越額62,000千円、不用額は130,033千円である。

支出済額が増額した要因は、既存ごみ焼却施設の継続使用に係る施設修繕費の増額（192,278千円）、新し尿処理施設建設事業に係る普通建設事業費の増額（308,170千円）によるものである。

支出済額の主なものは、施設修繕費1,022,907千円、職員の人件費561,872千円、一般廃棄物処理及び各種分析等の委託料659,225千円、新し尿処理施設建設事業の普通建設事業費515,797千円である。

#### ○ 清掃総務費

予算現額771,918千円（対前年度△11,643千円・△1.5%減）に対して支出済額708,917千円（対前年度△57,121千円・△7.5%減）、不用額63,001千円（対前年度45,478千円・259.5%増）となり執行率は91.8%である。

支出済額が減額した要因は、退職者及び人事異動に伴う衛生費関係職員減少による人件費の減額（△35,450千円）によるものである。

支出済額の主なものは、職員給与費442,070千円、共済費144,924千円、光熱水費等の需用費121,534千円である。

不用額の主なものは、光熱水費26,342千円、時間外勤務手当9,449千円、賃金8,896千円、下水道使用料4,272千円である。

#### ○ 塵芥処理費

予算現額1,796,180千円（対前年度72,534千円・4.2%増）に対して支出済額1,726,575千円（対前年度221,780千円・14.7%増）、地元要望である最終処分場内容物の試掘分析調査を早期に実施するための翌年度繰越額7,000千円（対前年度

7,000千円・皆増)、不用額62,605千円(対前年度△156,246千円・△71.4%減)となり、執行率は96.1%である。

支出済額が増額した要因は、既存施設の修繕について、平成30年度まで既存ごみ処理施設を継続使用するため、触媒反応塔補修及びバグフィルターろ布交換整備等で施設修繕費が192,278千円増額したほか、事業系廃棄物処理量の増に伴い一般廃棄物処理等の委託料が39,141千円増加したことによるものである。

支出済額の主なものは、需用費の施設修繕費1,012,374千円、委託料の一般廃棄物処理費539,101千円である。

不用額の主なものは、需用費の消耗品費17,564千円、委託料の一般廃棄物処理料23,003千円である。

不用額が生じた理由は、消耗品費については、入札により工業薬品単価が安価となったことによるもので、一般廃棄物処理料については、焼却灰・不燃残渣搬出量が当初の見込に対し減少したことによるものである。

一般廃棄物処理費539,101千円は、事業系廃棄物処理量の増、鎌倉市からの一般廃棄物受入れに伴う処理量の増により、焼却灰、不燃残渣搬出量が前年度に比べ増加(24,023千円)している。

#### ○ し尿処理費

予算現額47,397千円(対前年度△11,756千円・△19.9%減)に対して支出済額43,723千円(対前年度△12,656千円・△22.4%減)、不用額3,674千円(対前年度△900千円・△32.4%減)となり、執行率は92.2%である。

支出済額が減額した主な要因は、施設修繕費が9,837千円減少したことによる。

支出済額の主なものは、需用費の施設修繕10,533千円、委託料のし尿処理施設維持管理業務29,400千円である。

不用額の主なものは、需用費の消耗品費2,951千円である。

不用額が生じた理由は、入札により工業薬品単価が安価となったことによる。

#### ○ し尿処理施設建設費

予算現額571,914千円(対前年度363,475千円・174.4%)に対して支出済額516,161千円(対前年度308,088千円・148.1%)、旧し尿処理施設の残渣処分について、許可業者と搬出先等との調整に時間を要したことに伴う翌年度繰越額55,000千円(皆増)、不用額753千円(対前年度387千円・105.7%)となり、執行率は90.3%である。

支出済額の主なものは、新し尿処理施設建設事業に伴う普通建設事業費515,797千円(うち工事費486,769千円、施工監理委託料29,028千円)である。

当該事業は平成24年度から平成26年度までの3カ年の継続事業であり、歳入の国庫補助金248,036千円、県支出金13,600千円、組合債227,700千円は、特定財源として、当該事業に充当されている。



## 5款 教育費

表 - 16

### 教育費決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	132,083,000	125,928,386	0	6,154,614	95.3%
24年度	124,747,000	118,088,781	0	6,658,219	94.7%
増減額	7,336,000	7,839,605	0	△503,605	
増減率	5.9%	6.6%	0.0%	△7.6%	

教育費の決算額は125,928千円（対前年度7,840千円・6.6%増）、歳出総額に対する割合は3.41%（前年度3.57%）となっている。

予算現額132,083千円に対する執行率は95.3%、不用額は6,155千円である。

支出済額が増額した要因は、屋内温水プール定期修繕費の増額(11,460千円)による。

支出済額の主なものは指定管理料等の委託料97,196千円、需用費の施設修繕27,913千円である。

## 6款 公債費

表 - 17

### 公債費決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	142,245,000	142,242,998	0	2,002	100.0%
24年度	252,255,000	252,253,281	0	1,719	100.0%
増減額	△110,010,000	△110,010,283	0	283	
増減率	△43.6%	△43.6%	0.0%	16.5%	

公債費の決算額は142,243千円（対前年度△110,010千円、△43.6%）、歳出総額に対する割合は3.85%（前年度7.63%）となっている。

予算現額142,245千円に対する執行率は100.0%、不用額は2,002千円である。

支出済額の内訳は、既借入5件の元利償還金であり、元金138,761千円、支払利子3,482千円である。

なお、新し尿処理施設建設事業に伴い新たに1件の借入れをしている。従って、当年度末の組合債残高は、ごみ処理施設建設費229,808千円、し尿処理施設建設債307,174千円、合計536,982千円となっている。

## 7款 予備費

表 - 18

### 予備費決算額

(単位：円)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	215,112,000	0	0	215,112,000	0.0%
24年度	187,280,000	0	0	187,280,000	0.0%
増減額	27,832,000	0	0	27,832,000	
増減率	14.9%	0.0%	0.0%	14.9%	

当初予算額は10,000千円であったが、補正予算で205,112千円を増額し、215,112千円となり、不用額215,112千円となっている。

なお、予備費充用はない。

## 6 実質収支に関する調書

平成25年度一般会計の歳入総額及び歳出総額は、予算現額4,166,471千円に対し、歳入総額4,172,252千円、歳出総額3,695,746千円となり歳入歳出差引額（形式収支）は476,506千円となっている。

また、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源74,108千円を差し引いた実質収支は402,398千円となり、当該年度実質収支402,398千円から前年度実質収支509,295千円を差し引いた単年度収支は△106,897千円である。

最近5カ年の単年度収支状況については、別表2のとおりであり、実質収支額は、平成21年度288,168千円、平成22年度352,315千円、平成23年度431,064千円、平成24年度509,295千円と推移し、当年度は前年度より△106,897千円減少し、402,398千円となっている。

## 7 財産に関する調書

### (1) 公有財産

#### ア 土地

59.27㎡増

（清掃処理場の敷地△5.42㎡減、本郷老人福祉センターの敷地64.69㎡増）

#### イ 建物

1,184.46㎡増

（清掃処理場の建物1,184.46㎡（新し尿処理施設完成による増））

### (2) 物品（購入価格50万円以上）

予算決算会計規則第109条に定める今年度の重要物品については、ドーザーショベルが1台減となった。

## むすび

平成25年度の決算状況と事業状況を総括し、併せて要望事項を述べてむすびとする。

平成25年度の歳入合計4,172,252千円は前年度に比べ357,804千円(前年度比9.4%増)増加した。

これは、構成市からの分担金が113,117千円減少したものの、昨年度から継続して実施するし尿処理施設建設事業に充当するための特定財源として国庫補助金248,036千円、県補助金13,600千円、組合債227,700千円が増加したためである。

分担金については、建設費分担金が50,820千円増加したが、運営費分担金が163,937千円減少(同△5.9%減)したため、合計では前年度に比べ113,117千円の減少となったものである。

一方、歳出総額3,695,746千円は前年度に比べ390,593千円(同11.8%増)の増額となった。これは、上記の建設事業費が前年度比308,088千円の大幅増、既存ごみ処理施設を平成30年度まで継続使用するための整備補修費が前年度比192,278千円の増となったことによる。

また、平成4年度屋内温水プール建設事業及び平成14年度焼却灰等積替え保管施設建設工事事業における借入の償還終了により110,010千円(同△43.6%)減少した。

この結果、歳入歳出差引残額は476,506千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源74,108千円(継続費繰越額12,108千円、繰越明許費繰越額62,000千円)を差し引いた402,398千円が翌年度への繰越金となった。

当年度末繰越金402,398千円は前年度からの繰越金509,295千円に比べ106,897千円減少している。

ごみ搬入量は、平成13年度以降減少を続けてきたが、平成23年度を境に増加に転じている。

ごみの総搬入量は74,931.19 t となり、前年度に比べ942.52 t (同1.3%増)増加した。前年度は、前々年度に比べ39.91 t (同0.1%増)増加であったが、事業系廃棄物搬入量の増により増加幅が拡大した。

ごみの総搬入量が増加した内容を分析すると、家庭ごみ(可燃物、不燃物、粗大ごみ)は前年度に比べ1,014.86 t 減少したが、事業系ごみ(可燃物)が前年度に比べ1,957.38 t 増加したため、全体では増加したものである。

事業系ごみは、可燃物のほぼ20%を占めているが、前年度から増加傾向にあり、これに伴い廃棄物処理手数料は、前々年度337,292千円、前年度341,404千円、当年度443,372

千円（うち事業系廃棄物処理手数料390,339千円）と増加を続けている。

次に、し尿搬入量については、構成市の下水道と浄化槽の整備が進んでいるため、減少傾向にある。前年度は前々年度に比べ微増したが、当年度は再び減少した。

し尿の総搬入量は13,893.70k1となり前年度に比べ86.1k1（同0.6%増）増加した。し尿の総搬入量が前年度に比べ増加したのは、生し尿は302.0k1減少したが、浄化槽の整備に伴い浄化槽汚泥が388.1k1増加し、総搬入量で浄化槽汚泥の増加分が生し尿の減少分を上回ったためである。

ごみ焼却処理量については、構成三市において、平成12年度を基準として平成33年度で約30%の削減を目指す数値目標を設定しているが、平成25年度までの達成実績は18%であり、今後の推移が注視される。

ごみ及びし尿の処理コストについては、過年度に借入れた組合債の償還に伴う公債費及び当年度の施設建設等の投資的経費を除いて考察すると、ごみ処理コストは1トン当たり28,507円（同1,214円増・4.4%増）、し尿処理コストは1k1当たり3,173円（同△942円減・△22.9%減）となっている。5年前の平成21年度に比べごみ処理コストは11%、し尿処理コストは68%低下している。

当年度の処理コストの増減の主な要因は、ごみは焼却施設の触媒反応塔補修及びバグフィルターろ布交換整備に伴い維持補修費が増となったことによるものである。し尿は既存施設の稼働が最終年度のため、必要最小限の整備にとどめたことに伴い維持補修費が減となったことによるものである。

屋内温水プールと老人福祉センターの管理運営については、両施設一括による指定管理者制度を平成18年度から導入しているが、平成23年4月1日より新たに5年の指定を行っている。両施設の指定管理料は117,444千円（同△618千円・0.5%減）である。

当年度の施設利用状況については、屋内温水プールの利用者数は138,595人（同△756人減・△0.5%減）、老人福祉センターの利用者数は8,189人（同421人増・5.4%増）となっている。

屋内温水プールの利用人数が減少した要因は、台風、積雪の影響により臨時休館及び短縮営業を行ったことによるものである。

老人福祉センターの利用人数は、東日本大震災のあった平成23年度を除いて年々増加しているが、本年度は特に綾瀬市の土日の送迎バスの利用者の増加が顕著であった。

し尿処理施設建設事業について、新施設が平成26年3月31日に竣工を迎え、平成26年度は、新ごみ処理施設の建設予定地となっている旧し尿処理施設の解体を行うこととなる。平成27年度以降の新ごみ処理施設建設事業が滞ることがないよう万全の体制で取り組まれない。

今後、新焼却施設並びに周辺環境整備等の事業が計画されており、構成三市の財政的な負担が増大することが想定される。このことにより一層の堅実な財政運営が求められるところである。

引き続き現状の事業の効率性、必要性に考慮し、今まで以上に経営感覚、コスト意識を持った上で、今後の施設の維持管理計画の内容を精査し、その対象範囲について選択と集中を的確に進めるとともに「安全・安心」な施設運営、また新焼却施設の機種及び事業者の選定に当たっては、平成24年11月より施設整備検討委員会において構成市市民代表、施設設置地域住民を含む12名の委員で最新の技術及び地方自治体の施設設置状況等を調査研究し、当組合においての最適な施設について検討が重ねられ、事業者選定方法については、「総合評価一般競争入札」方式と決定し、この入札概要については、平成26年8月1日付けで入札公告を行った。今後も情報公開と説明責任に基づく住民との信頼関係に根ざした新施設の事業化を目指すよう努められるよう要望する。

以上



## 決 算 審 査 資 料

- 別表 1 平成25年度における三市の分担金
- 別表 2 最近 5 カ年の単年度収支状況
- 別表 3 款別歳入決算年度比較表
- 別表 4 款別歳出決算年度比較表
- 別表 5 最近 5 カ年の歳入決算状況
- 別表 6 最近 5 カ年の歳出決算状況



## 別表 1

## 平成25年度における三市の分担金

(単位：千円)

区 分			綾 瀬 市	海老名市	座 間 市	合 計
運営費 分担金	共通費割	均 等 割	74,034	74,034	74,034	222,102
		搬入量割	84,768	127,497	120,891	333,156
		計	158,802	201,531	194,925	555,258
	ごみ処理費割	均 等 割	235,035	235,035	235,035	705,105
		搬入量割	320,092	456,060	531,602	1,307,754
		計	555,127	691,095	766,637	2,012,859
	し尿処理費割	均 等 割	4,739	4,739	4,739	14,217
		搬入量割	10,648	9,320	13,212	33,180
		計	15,387	14,059	17,951	47,397
	運営費分担金合計			729,316	906,685	979,513
建設費 分担金	共通経費割	均 等 割	0	0	0	0
		人 口 割	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
	ごみ処理 施設費割	均 等 割	4,212	4,212	4,212	12,636
		搬入量割	4,800	7,303	6,854	18,957
		計	9,012	11,515	11,066	31,593
	し尿処理 施設費割	均 等 割	4,372	4,372	4,372	13,116
		搬入量割	7,311	5,114	7,260	19,685
		計	11,683	9,486	11,632	32,801
	建設費分担金合計			20,695	21,001	22,698
人件費分担金			10,000	10,000	10,000	30,000
分担金総合計			760,011	937,686	1,012,211	2,709,908
分 担 率 (%)			28.0457	34.6021	37.3522	100.0000

## 別表 2

## 最近5カ年の単年度収支状況

(単位：円)

年度 区分	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
歳入総額 A	4,172,251,797	3,814,448,150	3,690,436,255	3,649,675,605	3,650,596,464
歳出総額 B	3,695,745,704	3,305,152,817	3,255,977,367	3,291,069,482	3,354,342,987
歳入歳出差引額 C A - B	476,506,093	509,295,333	434,458,888	358,606,123	296,253,477
翌年度へ繰り越す べき財源額 D	74,108,000	0	3,394,650	6,291,245	8,085,000
実質収支額 E C - D	402,398,093	509,295,333	431,064,238	352,314,878	288,168,477
前年度実質収支額 F	509,295,333	431,064,238	352,314,878	288,168,477	233,565,014
単年度収支額 G E - F	△ 106,897,240	78,231,095	78,749,360	64,146,401	54,603,463
繰上償還金 H	0	0	0	0	0
実質単年度収支額 G - H = I	△ 106,897,240	78,231,095	78,749,360	64,146,401	54,603,463

## 別表 3

## 款別歳入決算年度比較表

(単位：円)

区分	平成25年度			平成24年度		
	収入済額	増減額	増減率	収入済額	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	2,709,908,000	△ 113,117,000	△ 4.0%	2,823,025,000	△164,137,000	△ 5.5%
2 使用料及び手数料	443,922,787	101,918,534	29.8%	342,004,253	4,057,185	1.2%
3 国庫支出金	266,966,000	152,503,000	133.2%	114,463,000	113,002,000	7,734.6%
4 県支出金	13,600,000	△ 700,000	△ 4.9%	14,300,000	14,300,000	皆増
5 繰越金	509,295,333	74,836,445	17.2%	434,458,888	75,852,765	21.2%
6 諸収入	859,677	△ 437,332	△ 33.7%	1,297,009	△3,963,055	△ 75.3%
7 組合債	227,700,000	142,800,000	168.2%	84,900,000	84,900,000	皆増
合 計	4,172,251,797	357,803,647	9.4%	3,814,448,150	124,011,895	3.4%

## 別表 4

## 款別歳出決算年度比較表

(単位：円)

区分 款	平成25年度			平成24年度		
	支出済額	増減額	増減率	支出済額	増減額	増減率
1 議会費	1,102,266	△ 9,381	△ 0.8%	1,111,647	△ 7,775	△ 0.6%
2 総務費	408,094,394	35,903,027	9.6%	372,191,367	20,577,513	5.9%
3 民生費	23,002,154	△ 3,220,208	△ 12.3%	26,222,362	758,168	3.0%
4 衛生費	2,995,375,506	460,090,127	18.1%	2,535,285,379	28,757,239	1.1%
5 教育費	125,928,386	7,839,605	6.6%	118,088,781	△ 909,695	△ 0.8%
6 公債費	142,242,998	△ 110,010,283	△ 43.6%	252,253,281	0	0.0%
7 予備費	-	-	-	-	-	-
合計	3,695,745,704	390,592,887	11.8%	3,305,152,817	49,175,450	1.5%

## 別表 5

## 最近5カ年の歳入決算状況

(単位：円)

年度 区分	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
予算現額	4,166,471,000	3,782,748,650	3,676,606,245	3,646,127,000	3,647,268,000
調定額	4,172,251,797	3,814,448,150	3,690,436,255	3,649,675,605	3,650,596,464
収入済額	4,172,251,797	3,814,448,150	3,690,436,255	3,649,675,605	3,650,596,464
不納欠損額	0	0	0	0	0
収入未済額	0	0	0	0	0
予算現額と収入済額との比較	5,780,797	31,699,500	13,830,010	3,548,605	3,328,464
予算現額に対する収入済額の割合	100.1%	100.8%	100.4%	100.1%	100.1%

## 別表 6

## 最近5カ年の歳出決算状況

(単位：円)

年度 区分	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
予算現額	4,166,471,000	3,782,748,650	3,676,606,245	3,646,127,000	3,647,268,000
支出済額	3,695,745,704	3,305,152,817	3,255,977,367	3,291,069,482	3,354,342,987
翌年度繰越額	74,108,000	0	3,394,650	6,291,245	8,085,000
不用額	396,617,296	477,595,833	417,234,228	348,766,273	284,840,013
執行率	88.7%	87.4%	88.6%	90.3%	92.0%